



◇編集・発行／無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会  
◇連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル4階  
◇TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226 ◇Email : hoshinoosaka@gmail.com ◇ホームページ http://fhoshino.u.cnet-ta.ne.jp/

◇頒価 200円 ◇毎月1回 第1月曜日発行 ◇会費 年間3000円  
◇振替口座 (ゆうちょ銀行) 00140-7-635858 (星野・大坂全国救援会)



高市政権打倒・大坂奪還1万人署名の大方針で闘う決意固める (11月24日 池上会館)

## 今こそ星野・大坂精神で闘い 国賠勝利・大坂奪還決戦へ

星野・大坂全国救援会は「1万人署名で大坂正明さん奪還！星野国賠完全勝利へ」11・24全国集会を開催し、全国から210人が参加しました。

集会は高市首相が「台湾有事は存立危機事態」と中国侵略戦争を叫びたてる情勢に真っ向から対決して闘われました。「反戦勢力の死活をかけた高市打倒を」と獄中から渾身の訴えを発する大坂さんと固く団結し、「高市打倒なくして未来はない」星野大坂闘争こそ戦時弾圧を打ち破る反戦闘争の先頭に」との発言が続きました。

弁護団の力のこもった裁判報告や、星野・大坂救援会の歴史的合流をうけ救援運動の変革と飛躍を目指した東京西部の救援会の闘い(7面掲載)が報告され、勝利への確信がみなぎる集会になりました。

全ての闘いを大坂奪還につなげよう。1万人署名を絶対に集め、大坂さんを取り戻そう！



大坂裁判弁護団  
星野国賠弁護団

藤田城治

1971年11月14日、渋谷で燃え上がった「沖縄奪還、全基地撤去」の闘いから、54年の歳月が流れました。星野文昭さんの国家賠償請求訴訟では、東京高裁での第1回目の期日が10月22日に開かれました。ほぼ同時期の10月16日に、大坂正明さんの控訴審においても、私たちは100ページを超える詳細な控訴趣意補充書(4)を提出しました。二人の裁判は、あたかも互いに呼び合うかのように、不思議と同時進行しています▼沖縄返還協定批准阻止の11・14闘争は、基地のない沖縄を求めて闘われました。54年を経た今、沖縄を

はじめとする南西諸島は基地機能が強化され、日米の軍事演習が頻繁に行われています。高市首相は「台湾有事はどう考えても存立危機事態」と断じ、集团的自衛権を行使すると公言しました。これが現実となれば、沖縄は再び地獄の戦場へとたたき込まれることになり、ますますこうした情勢の中、54年目の11月14日、私たちは「弁護士反戦デモ」と銘打ち、霞が関から首相官邸を経て最高裁までデモをしました。法廷闘争だけでなく、街頭での反戦の闘いにおいても、星野さんの魂と共に、そして大坂さんと共に、不屈の思いで闘い抜いています▼11・14から54年、星野さんと大坂さんは一緒に闘っている。私たちも。

### 今月の紙面

11・24集会	主催者あいさつ	…2
11・24集会	弁護団報告	…3
11・24集会	闘いの決意	…4
大坂さんの11・24集会メッセージ		…5
11・20東京高裁申し入れ行動		…6
全国で進む救援会の闘い		…7

## 11・24全国集会 主催者あいさつ

# 中国侵略戦争宣言した高市を倒し 無実の大坂正明さんを取り戻そう

星野・大坂全国救済会 事務局長 小泉義秀

11・24全国労働者集会は、高市・トランプ打倒を真っ向から訴える2150人の隊列を都心に登場させた。弾圧に屈しない闘いを作り上げてきた星野・大坂闘争は、「高市政権打倒を実現しなければ戦争が開始される」ということを肝に銘じて、死活をかけて闘おう（獄中通信87）と獄中から熱烈に訴える大坂さんと固く団結し、反戦闘争を先頭で闘い大坂さんを奪還しよう。

### 控訴審に勝利しよう

大坂正明さんは無実だ。死亡した警察官への殴打行為に一切関わっていないことは、写真に一枚も写っていないことから明らかだ。一審判決から2年、弁護団は控訴趣意書と補充書を次々と出し、救済会は霞が関デモ・街宣・署名提出で東京高裁を追い詰めてきた。裁判長が11月5日に交代し、ここからが勝

負だ。何としても1万人署名を実現し、労働者民衆の怒りと力を裁判所に示そう。懲役20年判決を私たちの闘いで打ち破ろう。

星野控訴審は年内結審が狙われている。一審判決が維持されると甘く考えず、なにより徳島刑務所問題を徹底追及して闘いぬこう。12月24日、裁判闘争・霞が関デモに結集しよう。

### 1万人署名で運動拡大を

大坂さんは集会アピールでスパイ防止法との対決を訴えている。戦時下の弾圧裁判は、戦争を進める国家権力と、これに立ちまはだかる民衆との倒すか倒されるかの死闘だ。弾圧を打ち破る巨大な闘いを作り出そう。大坂解放1万人署名を闘いの核心に据え、反戦闘争を闘おう。

中国侵略戦争阻止の闘いの中に私たちの展望がある。民衆の力で大坂さんを取り戻そう。

## 家族のあいさつ

# 国賠完全勝利、大坂奪還の決戦へ

星野・大坂全国救済会 共同代表 星野暁子

高市政権は国会で「台湾有事は存立危機事態」と宣言し、大軍拡の補正予算をはじめ政治・経済のすべてを戦時体制に叩き込もうとしている。死活をかけて闘い、中国侵略戦争を絶対に阻止しよう。

11月17日に大坂正明さんと面会した。笑顔で「久しぶり」と答えてくれた。東京連絡会と絵

画展実行委員会などを合体し、

星野大坂救済会・東京西部を立ち上げ、会員が増えたことを報告した。東京西部で1千人の大坂解放署名を集めることを目標に街宣を開始し、1日で40筆集まったことも報告できた。全国の救済会の取り組みを聞き、大坂さんは「高市の登場で戦争の時代が激しくなった。スパイ防

止法は治安維持法だ。私の裁判は難しくなるだろうが、断固として闘おう」と訴えていた。

星野国賠は控訴審が始まり、意見陳述した。一審判決を維持し、さらに徳島刑務所の責任を認めさせ、完全勝利を目指そう。

沖縄では自衛隊の軍事訓練に抗議する闘いをつぶそうと、県議会が「自衛隊差別だ」と言いがかりをつけ、決議を挙げた。こうした動きを許さず、闘おう。

11・14闘争はきわめて今日的な闘いだ。1万人署名で大坂さん奪還へ、年頭の渋谷大町宣と東京拘置所デモに立ち上がろう。

## メッセージ

# 皆さんの闘いが控訴審勝利の希望

大坂正明さん親族 佐藤政直

いま、正明さんの控訴審に、どれほどの希望があるのか。言葉にすればするほど、それは指のあいだから零れ落ちる水のように感じられます。どれほど「犯人ではない」事実が積み重ねられても、この国で政治と司法がまっすぐに切り離されていない限り、政治犯・殺人犯というレッテルは、そう簡単には剝がれ

ないのではないか。その恐れが、いつまでも胸の奥に居座り続いています。

けれど同時に、私は思うのです。人が立ち上がる時、その理由を決めるのは法律でも義務でもなく、人間の奥の奥で灯る衝動なのだ。

ただ、「おかしいものは、おかしい」「これは放っておけない」という、その当たり前の衝動が、皆さんをこの場所へ連れてきたのではないのでしょうか。

この衝動こそが、不条理の重さに押しつぶされそうになっても、正明さんに届く「風」になります。そして、長年張り付いたレッテルという壁を揺らし、ひび割れを生む「炎」にもなるのです。

どうかこれからも支えてください。あなたの声が、あなたの存在が、正明さんの光になり、控訴審勝利の希望になります。心から感謝します。

## 大坂裁判弁護団報告

## 供述調書はフェイクだ

西村正治弁護士



弁護団が膨大な控訴趣意書を積み重ねて暴

こうとしているのは、デモ参加者の供述調書の内容が100%のフェイクだということだ。

一審判決はA0らの検察官調書だけで有罪認定を行った。これらの供述調書は作文として確かによくできている。虚偽供述であると科学的に示すため、多くの心理学者に依頼して分析を実施し、完全に嘘を暴いた。

例えば、少年らは多くのデモ参加者の中で見ず知らずの大坂さんに注目しなければならぬ理由は何もない。しかも事件から3カ月も後に具体的に詳細な供述をするなど、ありえない。

虚偽供述はどのように作られたのか。捜査官から「デモ隊の幹部＝大坂」が事件に関与したとの情報を示唆され、厳しく追及されることで「そうかもしれない」と思い込み、苛烈な調べ

から解放されるため、捜査官の想定に沿った供述を「自発的に」行ったのだ。これが「自分からしゃべった」なぜこのような供述になったのかわからない「取調室に入ればわかる」というA0証言の真相だ。供述は誘導と強制で作られたフェイクだ。

## 調書裁判は戦時司法

山本志都弁護士



地裁判決の核心は、裁判所で行な

に依拠することができず、密室で検事が作成した調書のみを証拠として認め、それに基づき事実認定したことだ。それしか有罪にする方法がなかった。

かつて自白が証拠で一番重要だという時代があった。魔女裁判に典型的だが、拷問で強制したり、多数派が少数派を排除するために使われた。検察官調書は原則として証拠にはしていない。その理由は歴史を振り返れば明らかだ。

明治・大正時代の刑事訴訟法はそもそも検察官が取り調べを行うことができなかった。1941

年、戦時下で治安維持法の全面改訂が行われた。この時、検察官に被疑者の尋問権を与え、作成した調書に証拠能力を持たせた。裁判を簡略化し、取り調べで転向強要を企図する戦時司法体制だ。これが戦後もそのまま残された。

原則として使えない検察官調書に広く例外を設け、多くの冤罪事件で有罪の決め手にされてきた。50年以上前に作られた検察官調書が事実認定に使われた大坂裁判は、裁判の公平らしさを保てない戦時裁判だ。絶対にでつち上げを許さない。

## 星野国賠弁護団報告

## 星野精神で国賠勝利へ

岩井信弁護士



「医療判例解説」という専門誌で「術後管

理のイロハのイから間違っていた」と痛烈に批判された医療センターの責任をひっくり返すのは、極悪の東京高裁をしても簡単ではない。ぎりぎりの攻防だが私たちは国を追い詰めている。

獄死の責任を医療センターと徳島刑務所に問うとともに、手続問題も争っている。徳島刑務所は星野さんに病状を知らせず、更生保護委員会にも報告をしなかった。法務省のテキストには矯正医療が「被收容者を改善更生させるための医療」だと書かれている。だが最高裁判例を讀みとけば、患者の健康のための医療でなければならぬ。外の医療と同等でなければならぬ。それをしなかったのが徳島刑務所だ。徳島刑務所が星野さんを獄死に追い込んだ。その責任まで認めさせられるかどうかは、控訴審の重要な争点だ。

星野さんは一貫して闘いの人生を歩んできた。不合理な死を強制されてなお、星野さんは国賠訴訟という形で闘いつづけ、道を切り開いている。星野さんの闘争の精神に倣い、闘いたい。

## 劣悪な獄中医療許さない

土田元哉弁護士



矯正医療にかかわる医師が、刑務所の劣悪

な医療環境を告発したところ、

報復人事を受けたという報道が出た。法務省は星野さんを殺し、大川原化工機事件でも無実の未決勾留者を殺しておきながら、まったく反省せず同じことを繰り返している。これを許さない。観点からも星野国賠は重要だ。

一審判決は、適切な術後管理が行われていれば星野さんは少なくとも実際に死亡した時点では死亡しなかったと認定した。国は膨大な控訴理由書を書き連ねながら、一審判決を何ら批判できていない。それどころか判決の論点を無視して「いつの時点で再開腹止血術をすれば助かったのかは、専門家もわからない」と言っている」と言い出した。

医療センターが検査をやらなかったからわからないことを、原告のせいにするなど判決に書いてある。星野さんはSTLSという難しい症状に陥っていないと、医療センターの医師が一審で証言している。これも無視して同じことを書いています。

国が次回期日までに医師の意見書を出すとやっている。何が出ようが、獄死の責任を認めさせた一審判決は絶対に維持させる。これはすべての受刑者の人権にかかわる問題だ。

## 闘いの決意

### 反戦・反核闘争の発展を

8・6暴処法弾圧被告 古郡陸

11月18日、被告団に懲役1年2月、執行猶予3〜4年という極めて不当な判決が出された。絶対に許すことはできない。

8月6日はそもそも反戦・反核を闘う日だ。核戦争の危機が迫る中、その意義はますます大きくなっている。

原爆ドーム前で集会をやることは至極当然だ。妨害勢力を粉砕し、闘うのは当たり前だ。これを国家に齒向かう犯罪行為として敵視するなど許せない。戦争する国家をつぶすのか、我々がつぶされるのかだ。不当判決に即日控訴し、闘っている。

広島市はかねてより反戦・反核闘争を潰そうとしてきた。だから暴処法を使った。これはこの時代に反戦を闘う者全員にかけられた弾圧だ。政府の意をくんだ結論ありきの裁判だ。こんな弾圧に負ける訳にはいかない。私たちの逮捕を理由に8・6集会が禁止されたが、今年も断固集会をやり抜き、闘いが発展

している。289日間拘束されたが、完全黙秘・非転向を貫き今皆さんとスクラムを組んでいる。星野さん、大坂さんのように闘い、高市を打倒しよう。

### 大坂さんを獄死させるな

婦人民主クラブ全国協議会

荒井素子

星野奪還を信じ、全力で闘ってきた。獄死の報に衝撃を受けたが、救援会の毅然とした方針と闘いで国賠勝利まで来た。

大坂さんの懲役20年もまた、戦争に向かう国が政治犯を殺そうという意志だ。許してはならない。一日も早く奪還し、戦争阻止の闘いを一緒にやりたい。

### 壁を乗り越え日帝打倒を

東京労組交流センター

山口弘宣

いまだに大坂さんを奪還できないことを謝罪します。階級的な力が足りない。今、戦争に向けて情勢は激しく進んでいる。今までの延長線ではだめだ。

星野さん大坂さんのように実力闘争で政府を倒す闘いをやらなければいけない。私たちの力は

こんなものではない。

絶対に壁を乗り越えよう。大坂奪還・日帝打倒へ先頭で闘う。

### 絶対反戦のリーダーになる

香川 吉田康彦

私自身、17年前の三里塚闘争で星野さんの闘い、動労千葉の闘いを知った。どちらも国家権力の最大の暴力である戦争に絶対反対を貫き、人生をかけて闘っている。そこに感銘を受け、三里塚・国鉄・星野の三本柱が自分の生き方の土台になった。

7年前、星野さんの仮釈放を求める高松での更生保護委員会闘争以降、香川の救援会は一人ひとりが星野になるとの言葉を胸に、絵画展ごとに厳しい議論を重ね、時代情勢をにらんで星野大坂闘争に取り組んできた。

国家が人の命を奪ってのうとうと生きていることは許せない。高市政権も同じだ。高市は80年前のアジア侵略戦争の歴史に反省もなく、台湾有事を口実にもう一度侵略戦争を仕掛けようとしている。絶対に許せない。

星野さん大坂さんが命懸けで闘った11・14の闘いをこの時代に私たちがよみがえらせ、自ら

の飛躍と変革をかけて一人ひとりが絶対反戦のリーダーとなつて登場するのは今だ。ここに集まった私たちが歴史の主人公なのか、証明しよう。

中国侵略戦争絶対阻止、高市政権打倒、1万人署名を集め、大坂さん奪還へ闘おう。

### 高市政権に怒りを

神奈川 荒井秀雄

星野さん虐殺、大坂さん懲役20年に大きな怒りを持つ。高市政権に大きな怒りを持つ。

高市はトランプと横須賀で米空母に乗り込み、中国侵略戦争を宣言した。横須賀は米軍司令部がある。出撃拠点にさせてはいけない。横須賀闘争を闘おう。戦争を望んでいるのは誰か？ 自国政府だ。高市を倒し、私たちが社会を動かそう。大坂さんをとり戻そう。

## カンパピール

### 現地調査で無実を確信

さいたま 飯島良子

11月14日に渋谷闘争の現地調査を行った。代々木八幡駅に降

り立ち、大坂さんがパトカーを追いかけた井の頭通り交差点を歩き、機動隊との衝突を思い浮かべながら、星野さんが車のフロントガラスが光るのを見たという十字路で私もその光を見た。闘いの大きさを感じるとともに、二人の無実を確信した。

星野大坂精神で闘い、戦争を止めることが私たちの責務だ。1万人署名を集め、一日も早く奪還し、完全勝利へ向かおう。

## まとめ

### すべてを大坂無罪奪還に

共同代表 狩野満男

夏の総会で闘いの陣形を明確にし、救援会の名称も変え、星野大坂の闘いを今日の反戦闘争として、全国で飛躍をかけて闘ってきた。今日の報告・全ての発言で運動の前進を確認したい。

情勢が大きく転換している。その中で大坂控訴審が始まる。ここが本番だ。すべての闘いを大坂無罪奪還につなげよう。

本日は10万人ぐらゐ署名を集めたい。控訴審を前にした年末年始、反戦闘争の激闘の中でまずは1万人署名をかちとろう。

# 反戦勢力の死活かけ高市打倒へ

星野さんの国賠の第一回控訴審で、裁判長が結審を告げようとした時、国側は医師の意見書を準備していると申し出たという事です。

何を今さら悪あがきをするのかと、誰もが思ったことでしょうか。たとえどんな名医でもはや言い逃れることは無理でしょうから、すぐに結審になると考えられます。

そうなるも残念ながら徳島刑務所の責任も、収容施設での医療の改善も認められないことになりそうです。しかしそれでも一番の基本が認められると、この種の国賠訴訟としては「巨額」といえる賠償額ですから、歴史的大勝利であることは間違いありません。今の段階では収容施設での医療の改善は欲張り過ぎといったところでしょう。

星野さんの勝利が確定した後、同じようなケースの国賠訴訟が続けば、権力に大きな打撃を与えることができます。

星野さんを死なせた医療セン

ターでは、原因不明の死亡者が毎年50人程いるそうです。全国の収容施設での死亡者も併せるとかなりの人数になります。この中から1件でも2件でも、星野さんに続く人が登場することを期待したいものです。

救援会はそうした人を掘り起こすために、広く宣伝・周知のために闘うことを一つの課題とすることが必要だと思います。

11月18日に8・6ヒロシマ暴処法弾圧の5名に判決があります。この判決は反戦闘争への喝・見せしめのために強引に有罪にすることが十分考えられます。

私の裁判も同様に恫喝・見せしめの絶好のターゲットとして一審判決が維持されることが考えられます。それだけに星野さんの国賠訴訟はいっそう輝きを増します。またこの勝利は反戦勢力に大きな自信をもたらします。

高市政権が登場したことによって、いよいよ中国侵略戦争が

間近に迫ってきたことを実感します。高市の政治信条やこれまでの言動からして、それは当然です。つい最近の中国を挑発する言辞からすれば、日本から今すぐにでも戦端を開く気満々だと言えます。そのため高市の政策は全てが戦争に直結したものです。その中のスパイ防止法攻

撃は反戦勢力を壊滅させるための現代の治安維持法として作られようとしています。したがってスパイ防止法攻撃との闘いは反戦勢力の死活のかかったものとして闘わなければなりません。救援会はもとより全ての反戦勢力の存続をかけて、力を合わせて全力で闘い抜きましょう。

## 裁判もまた変えることができる

星野・大坂全国救援会 共同代表 浅野健一



星野国賠  
は私のジャーナリスト  
人生でかつ

てない大勝利だった。弁護団と救援運動の力でつかんだものだ。控訴審では徳島刑務所の責任を問う判決を期待している。一審判決では満足しません。

大坂さんは無実だ。一審判決は暗黒裁判だ。強い憤りを感じる。控訴審で勝つのは大変だというが、勝利の可能性は大いにある。多くの民衆が関心を持ち、注目することで袴田裁判も無罪を勝ち取った。支援の輪が広がって勝利に結びついた。

大坂さんは面会で私に「政治裁判だから政治を変えないと難

しい」と言ったが、私はそうではないと思う。はっきり言うが、人民の力で政治を変えなければならぬ。裁判もまた変えることができる。それが1万人署名だ。山上さんの安倍銃撃裁判を傍聴している。裁判で家族が「安倍が銃撃されたことは理解できると証言した。その思いを受け止めたい。暴力はいけないという人がいるが、やむにやまれぬ闘いがある。渋谷闘争がまさにそうだった。青年労働者、民衆が沖繩と連帯し社会を変えようと立ち上がった。いま高市は中国侵略戦争をやるうとしていて。一秒も早く打倒し、社会を変えよう。今は革命の時代だ。

### 闘いの方針

12月11日(木) 午後1時

#### 渋谷街宣

渋谷駅八千公口駅前広場

12月18日(木) 正午

#### 霞が関デモ

日比谷公園霞門集合  
デモの後、裁判所前街宣

12月24日(水) 午後3時

#### 星野国賠控訴審

#### 第2回裁判

日比谷公園霞門、正午集合  
霞が関デモの後、裁判所前街宣  
裁判終了後、弁護士会館で報告集会

1月3日(土) 午後1時

#### 渋谷大街宣

渋谷駅八千公口駅前広場

1月4日(日) 午後1時

#### 東京拘置所包囲デモ

小菅万葉公園集合(東武スカイツリーライン小菅駅下車徒歩3分)

11・20 東京高裁申し入れ行動

# 高市打倒・大坂奪還の思い一つに 70人が力強く東京高裁包囲デモ

11月20日、救援会は無実の大坂正明さんの解放を求め、霞が関デモ・裁判所前街宣く東京高裁申し入れ・署名提出行動を70人の参加で闘いぬきました。

この日は午前中、改憲・戦争阻止！大行進東京が呼びかける国会行動が聞われ、救援会も参加しました。「台湾有事は存立危機事態」と中国侵略戦争を国会で宣言した高市政権の打倒なくして民衆の未来はありません。国会闘争で高市政権との対決を

鮮明にさせ、勢いそのままに救援会の霞が関デモになだれ込みました。

一昨年8月6日に広島原爆ドーム前で反戦反核集会を行ったことで逮捕・起訴された暴処法弾圧の裁判が11月18日であり、5人に不当な有罪判決が下された直後でした。参加者から「高市政権のもとで戦時弾圧が強まっている」「戦争のためのスパイ防止法・国家情報局創設を粉砕しよう」「反戦闘争を発展させて



大坂さんを取り戻そう」との発言が相次ぎ、戦時弾圧打ち破ろうとの意気込みがますます高まるデモと街宣になりました。

## 高裁に署名681筆提出

午後3時から、東京高裁への申し入れ行動に移りました。全国救援会、東京西部、東京東部、

## 11・2全国労働者総決起集会

### 高市政権と対決する2150人の隊列

全国労働者総決起集会が11月2日に東京・芝公園で開かれ、全世界から集った2150人の絶対反戦の隊列が首都に登場した。



壇上でアピールを行う星野暁子さん

千葉、神奈川、関西連絡会の6通の申入書を突きつけ、無実の大坂さんを即時解放せよと、681筆の署名を提出しました。

今年に入って毎月のデモと街宣、4回の申入行動、計5482筆の署名提出と、救援会は闘いを強めてきました。当初は署名を裁判長に渡す約束を頑なに拒



芝公園を埋めつくした2150人

「国境を越えた労働者の団結した闘いにこそ戦争を止める力がある」と宣言し、差別・排外主義の高市政権を打倒し、中国侵

否していた裁判所ですが、この日は訟廷管理官が署名・申入書を裁判長に渡すと明言しました。闘いの積み重ねで裁判所を追い詰めています。さらに攻勢をかけよう。何より1万人署名の実現です。東京高裁に事実調べを行わせよう。大坂さんの命と健康を守り、絶対に奪還しよう。

略戦争を止めようと誓い合った。星野大坂救援会は星野暁子さんが登壇し「弾圧に屈しない闘いを作り上げてきた。安保・沖縄闘争を爆発させ、星野国賠勝利・大坂さん奪還へ闘おう」と訴えた。集会後、新橋・銀座の繁華街をデモ行進した。



星野・大坂の大隊列が繁華街を堂々と進む

# 星野救援運動発足の地から運動の飛躍を 星野大坂救援会・東京西部ついに発足

私達は5月の星野さん大坂さん全国救援会の統一を受け、星野救援運動発祥の地・東京西部においてこそ、これまでの古い方方を打ち破り、大行進運動の中に星野・大坂闘争をしっかりと据え直し、幾度かの準備会を経て11月15日に「無実の政治犯 星野さん大坂さん救援会・東京西部」の結成集会を勝ち取ることができました。開会のあいさつで星野暁子さんが30年間の（とりわけ西部・杉並における）星野救援運動をふり振り返り総括を述べ、事務局の木梨さんから結成に至る「経過と闘いの提起」が行われました。



続いて学習・講演として、大坂さんの親族である佐藤政直さんの作成のDVD『沖繩と闘争』の上映と全国救援会事務局の杉浦文俊さんから「大坂さんは無実だ」と題する講演と質疑応答が行われました。当時の沖繩コザ暴動や全島ゼネスト、渋谷闘争などがリアルに映し出され、この闘いに驚愕した警察・検察が裁判所と一体となつてねつ造証拠で大坂さんに一審「懲役20年」を下したことが、無実の星野さん大坂さんに対する不当弾圧が安保・沖繩闘争をたたき潰すための今日的な目的意識的な国家犯罪であることが鋭くあばき出されました。

これを受け、星野さんを取り戻そう！東京連絡会をはじめ絵画展を通じて組織してきた高井戸の会、中野の会、世田谷の会をはじめ、東京西部労組交流センター（東京西部ユニオン）、全国水平同盟杉並支部、婦民全国協杉並支部などの仲間たちが決意を表明。全体を通じ、がんを

放置して星野さんを獄死させた徳島刑務所の責任は絶対に免れないこと、1万人署名の実現で無実の大坂さんを絶対に取り戻すこと、星野さん大坂さんの二つの控訴審勝利を絶対に勝ちとること、そして安保・沖繩闘争の大爆発を絶対勝ち取つてゆく決意を新たにしました。

## 星野大坂闘争で高市打倒へ

高市の「台湾有事は日本の存立危機事態」との発言に中国が激しく反発するのは当然です。高市発言は、すでに日米安保同盟強化の下で民間をも総動員し中国侵略戦争体制構築を急いでいる日帝の本音に他なりません。しかも与野党やマスコミまでも「日本の防衛力強化は当然だ」と排外主義をまき散らしています。断じて許せません！

星野さん大坂さんの闘いはまさにこうした攻撃と真つ向から激突し、打倒していく今日の闘いであり、勝利以外にありません。激動の2026年に向かっ

て東京西部は全力で闘います。団結を一層打ち固め共に闘つて

いきましよう！（救援会・東京西部 杉橋幸雄）

## 「琉球弧を戦場にするな」上映会開く

高知・星野文昭さんを救う会 小西文江

10月11日、竜馬の生まれたまち記念館で「琉球弧を戦場にするな 2025」の上映会を行い、11人が参加しました。映画では日米共同訓練「アイアン・フィスト25」、沖繩県国民保護計画図上訓練、宮古島への電子戦部隊車両搬入、北海道や白別演習場での日米共同訓練「キーン・ソード25」の様子が映し出されています。日米の軍事的一体化が加速していますが、そこに住む人たちの思いは無視されたままです。「宮古島は平和な島だっ



住民の言葉が心に響きます。上映後に感想や意見交換をしました。今回も新しい方が4名来て下さいました。昨年に続いての上映会ですが、その都度新しい出会いがあり嬉しいです。会場に星野文昭さんの絵5点もお借りして展示しました。星野さんの絵は優しさにあふれています。終了後に星野さんの絵を見ながら、会話が弾んでいました。

星野文昭さん、大坂正明さん、奥深山幸男さん、そして高知出身の永田典子さんが沖繩の人々に寄り添い11・14渋谷闘争を闘われた意志を改めて心に刻みました。星野文昭さんの願いである「一人間らしく生きられる社会の実現」を求めて行動していきたいと思えます。

## インフォメーション

### ■星野文昭★暁子絵と詩展

12月2日(火)～7日(日) プレラにしのみや4階交流コーナー (阪急神戸線西宮北口駅徒歩2分)

★DVD上映 12月6日(土) 午前10時～午後5時 「琉球弧を戦場にすな」ほか プレラにしのみや402集会室 主催 「婦人民主クラブ」 阪神読書会・たんぼの会

### ■米日の中国侵略戦争・核戦争阻止！海自艦へのトマホーク配備許すな！12・7横須賀闘争

12月7日(日) 午後1時30分 京急・横須賀中央駅前広場 主催 改憲・戦争阻止！大行進 神奈川

### ■大坂さん解放！高市政権打倒 渋谷街宣

12月11日(木) 午後1時 JR渋谷駅ハチ公口駅前広場

### ■大坂さん奪還！霞が関デモ&東京高裁前街宣

12月18日(木) 正午 日比谷公園霞門集合  
デモ終了後、東京高裁前街宣

### ■星野国賠控訴審第2回裁判&法務省弾劾！東京高裁包囲デモ

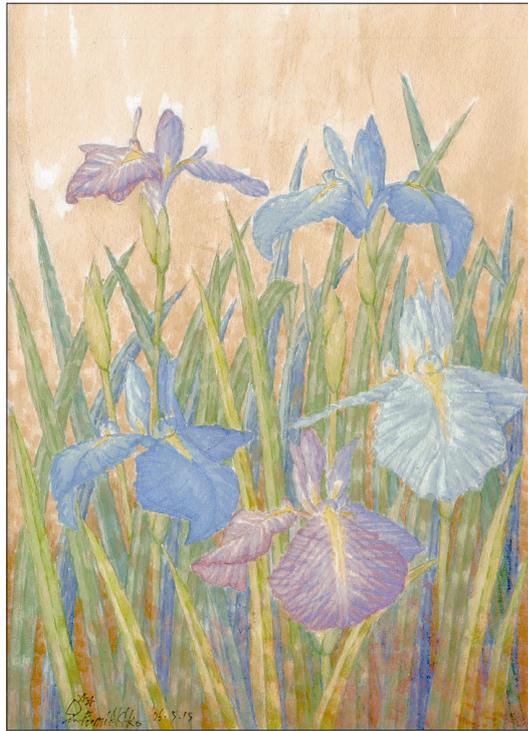
12月24日(水) 正午 日比谷公園霞門集合  
デモ終了後、東京高裁前街宣  
午後3時 控訴審第2回裁判  
裁判終了後、報告集会(弁護士会館)

### ■大坂さん解放！高市政権打倒 渋谷大街宣

1月3日(土) 午後1時 JR渋谷駅ハチ公口駅前広場 主催 改憲・戦争阻止！大行進東京/星野・大坂全国救援会

### ■大坂さん奪還！東京拘置所包囲デモ

1月4日(日) 午後1時 小菅万葉公園  
東京都葛飾区小菅 1-35-16 (東武スカイツリーライン小菅駅下車徒歩3分、東京拘置所となり)  
主催 東京労組交流センター/星野・大坂全国救援会



「心満たす花しようぶ」絵 星野文昭 2006年制作

この絵を見て、「許し」という詩が思い浮かんだ。あまりぴったりのので、自分でも驚いた。それは、文昭と私の対話の中で生まれている作品だからなのだろうと、今も思っています。 星野暁子

## 星野・大坂控訴審勝利へ 裁判費用300万円 カンパを訴えます

ついに星野国賠控訴審が始まりました。徳島刑務所の星野文昭さんに対する筆舌に尽くしがたい医療放置の国家犯罪を徹底追及する弁護団に対し、東京高裁は審理を行わずに結審の意向を示しました。被告・国は医者意見書を出す主張し、「年度内判決」を公言する裁判長のもとで裁判は大きな山場を迎えます。医療センターの責任を認めた一審判決をひっくり返させない、さらに徳島刑務所を断罪する闘いを、救援会の総力で取り組みましょう。大坂裁判控訴審と一体で進む重大情勢に勝ち抜く裁判費用カンパをお願いします。

大坂裁判では、暴力と脅迫で「目撃供述」をでっち上げたねつ造調書に依拠した一審判決を打ち破るため、弁護団が「検察の答弁書に対する反論書」を10月16日に提出しました。さらに新たな心理学実験にもとづく控訴趣意補充書も準備中です。高裁に事実調べを迫る力強い闘いが進んでいます。

訴訟費用を賄う300万円カンパをお願いします。

郵便振替口座：00140-7-635858

口座名：星野・大坂全国救援会

〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226

Email: hoshinoosaka@ymail.ne.jp

※救援会の口座はゆうちょ銀行です。

## 獄中の大坂正明さんに 激励の年賀状を出そう

東京拘置所で闘い抜く大坂正明さんに年賀状を出し、団結を固めましょう。

大坂さんは、獄中闘争を支える救援会の仲間がどのような経歴の方々に、普段全国各地でどのような闘いを行い、運動を支えているのか知りたがっています。私たちの闘いを獄中に伝えよう。年賀状で団結を固めよう。

★私たち自身の闘いを紹介する年賀状で闘いの息吹を伝えよう

★写真や絵を使い趣味や家族の紹介を行うと人柄がよくわかり、心に残ります

★閉ざされた獄中にとっては、何気ないつづやきも新鮮です。ぜひ一言添えてください

★花や動物、風景の写真なども大歓迎です

〒124-8565

東京都葛飾区小菅 1-35-1A

大坂正明さん宛

※「大阪」「正昭」など、名前を間違えると届きません